

佳作

## 音はみろくもくしれ

茨城県 小美玉市立堅倉小学校三年 田村 実夢

わたしは月に二回い上、図書館へ行きます。いつものように図書館へ行くと、夏休みのか題図書コーナーがありました。もうそんな時期になったんだな、今年は何の本にチャレンジしようかな、とむねがワクワクしてきました。わたしがまずおどろいたのは、二年生の時よりも文字が多くなっていったことです。むずかしそうだなと思いました。

か題図書からこの本をえらんだ理由の一つは、表紙の絵がかわいかったからです。二つ目は、タイトルがおもしろそうだったからです。三つ目は、明るい色が多かったからです。

わたしには弟と妹がいます。二人に読み聞かせをしているので、この本も聞かせたいと思いいえらびました。ページ数が少ないから、すぐに読み終わると思っていました。しかし「じしようこつ」や「かぎ

ゆう」など意味が分からない言葉がたくさんあり、四さいと二さいのきょうだいに読むのは、とても大へんでした。

わたしのすきな音は「花火」です。ドオンと音がして夜空に花火が上がった時、きれいだね、とわたしもまわりの人もニコニコえ顔になるからです。広い夜空に大きな花がさいたみたいに見える、この音を聞くと、とても明るい気持ちになります。

この本から、光は音とくらべてとても速いことを知りました。遠くの花火が見えてからドオンと聞こえるまで、しばらく時間がかかるのは、空気をつたわる音のスピードが光とくらべものにならないほどおそいことを学びました。ただ見ているだけの花火が、これから見る時は、この本に書いてあったことを思い出して見ることができそうです。

そして、もし花火の音がなかったらどうでしょうか。わたしは悲しくてさみしい気持ちになるでしょう。去年、家族で小美玉市の花火大会へ行きました。近くで見た時、はく力のある音に感動し楽しめました。音のおかげでもり上がれ、家族とつながりを深めることができたと思いました。音はとても大切で、みりよくてきです。

きゆうきゆう車や消ぼう車、パトカーの音など、音には色んな役わりがあります。今までたくさん音の聞いてきました。音が聞かせる生活がもつと楽しくなりそうです。この本を読んで、音のうがっながっていることを知りました。

生まれつき耳が聞こえない人がいますが、わたしの耳はよく聞こえます。お母さんに感しゃしたいです。年をとって耳が聞こえにくくなってしまいう日まで、さまざま音を楽しみたいと思います。そしてもし、耳が聞こえにくい人と出会ったら、わたしがその人の耳になって役に立ちたいと思います。人間と動物、どちらも耳は二つあります。耳の数は同じでも、動物が感じる音を人間は聞こえないところがおもしろいです。